

---

# 不老不死がいく！！

Zeno

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

不老不死がいく!!

### 【Nコード】

N2878Z

### 【作者名】

Zeno

### 【あらすじ】

色々と能力をもらって魔法先生ネギま！の世界に転生したものの、転生先はまさかの石器時代！ネギま！が始まる時代までどうしろと？とりあえず適当に過ごそう。不老不死の前には時間があったという間に過ぎるはず……って、やべ気がついたら始まってるじゃん！？突発的に頭に思い浮かんだものを書いてみました。とりあえず連載小説にしましたが続きを書くかも定かではありません。が、読んで頂ければ幸いです。

## 00：始まる前（前書き）

突発的に脳裏に降りてきたので書いてみました。

## 00：始まる前

ふと気になった。

今はいつだろう……

前に年号聞いてからどれほど世界は進んだのだろう……

もう西暦には入ったのだろうか？

それとも未だキリストは誕生すらもしてないのだろうか？

時間の感覚というものにマヒしだしたのは確か漢王朝が始まった頃だったと思う。

あ、人だ。

あのおじさんに聞いてみよう。

あ、なんか来てる服がずいぶんと懐かしいカラフルなシャツだ。こりゃ西暦には入ってる筈。

「もし、今って西暦、何年でしたっけ？」

「ん、今年か？今年は」

「……………」

マジか……

もう原作開始しちゃってる……だと……

急いで日本に帰らねば！

あゝ海を越えんの地味に疲れるんだよな

あ、飛行機できてんじゃん！  
パスポト適当に作って飛行機使おうそうしよう！

麻帆良が私を待っている！！

石器時代から過ごさせられて溜まったフラストレーション思う存分  
発散させてもらおう！

\*

「あの学園長、なんで学園長室が女子中等部にあるんですか？いや  
女子小等部と女子高等部にもありましたか……」

「何故男子の方にはないのか、かね？」

「なんじゃねタカミチくん、そんなことも分からんのかね？」

「そんなもの………女の子の近くに居たいからに決まっておろ  
うが！！」

「男の子の良さが分からないなんて学園長にはがっかりですよ」

「ほ、タカミチくん、君そっちの人じゃったのか！？」

「ええ、男しかいない空間によくいましたからね。今じゃ女性には  
全く勃たない程ですよ」

「ちなみにストライクゾーンは？」

「赤ん坊から老人まで」

「……ワシ、今貞操の危機？」

「いえ、学園長は好みではないので……頭がもう少し短ければ違ってたんですがね……惜しいな」

「ワシ、君を女子中等部の教師にして本当に良かった」

「最初は鬱で仕方なかったんですがね。男子の小中高等部の教師が誰か休んだときに代わりに授業ができるのでそれを糧に日々頑張ってるんですよ」

（タカミチくん、結婚しないのは仕事の忙しさからかと思っとながアレな理由じゃったのか……）

とある昼休み

異常に長い髭を弄りながら麻帆良学園の学園長、近衛近右衛門は学園長室のふかふかの椅子に座って学園の中等部の教師、高畑・T・タカミチと話をしていた。

「ネギ君も無事に担任になってくれましたし、これで男の子に手を出す時間が増えましたよ」

「タカミチくん……仕事はきちんとやっておるし構わんが、問題を起こさない範囲で楽しむんじゃぞ」

「問題になりそうでしたら記憶を弄ってますから安心してください。少年から青年まで揃っている麻帆良に居るためなら僕はなんだってやりますよ」

「……ネギ君には手を出してはいかんぞ？」

「ええ、ネギ君もナギさんの息子じゃなければ手を出すんですが…  
…はあ、残念です」

「あ、そろそろチャイムが鳴りますね。次の授業がありますので失礼しますね」

「うむ、頑張ってくれたまえ」

タカミチが部屋を出てから学園長はそつと息を吐く。

(ネギ君、ナギは君をちゃんと守っておるぞ)

変態の魔の手から、のう……

00：始まる前（後書き）

主人公の出番少なっ

どんな設定かは次あたりにでも書きます。

私の頭の中ではタカミチは変態だった。

タカミチ好きな人ゴメンネー（棒）

こんなタカミチを好きなアスナ……ないわー（笑）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2878z/>

---

不老不死がいく！！

2011年12月10日10時57分発行